

FP的視点で人生設計を考える

日本航空の企業年金削減問題について考える

今回のコーナーでは、今世間で話題になっている日本航空再建に関わるOB及び現役社員の企業年金削減問題について考えてみたいと思います。右下の図は、日本航空の企業年金のしくみと、会社側が日航OBに対して提示した削減案を表したものです。みなさんはこの図を見て、どのような感想をお持ちでしょうか？

かつては日本の翼と呼ばれ、国を代表する大企業ならではの厚手い退職金制度とらやむ反面、今のご時勢に運用利回り4.5%を確保する確定給付型の年金制度が馴染むのか。ましてや今の日航の企業実態から言って、公的資金(つまりは税金)を投入してまで国として日航を援助すべきなのか？この問いに対しては、立場によって意見がわかるところかも知れませんが、日航経営陣からすれば、自らの経営責任を感じつつも、国策として運行を強いられてきた赤字路線への負担のつげがここに来て重くのしかかっていることに、物申したい気持ちもあるでしょう。また国民感情としては、ただでさえ国庫財政の厳しい折、「一企業の企業年金の積み立て不足の肩代わりを公的資金をつぎ込むべきではない」という思いも当然あるでしょう。

さて、問題は日航OBや現役社員の立場の方々。既定の制度として「貰えるもの」と思っていた年金を、会社側の理不尽な申し出があったからといって、それをすんなり受け入れることが出来るかどうか。しかし、この構図を日航＝日本国、日航OB及び現役社員＝日本国民と置き換えてみたらどうでしょう？年始早々不謹慎な話と思われるかも知れませんが、10年前に国民のうち何人が今の日航の姿を予想したでしょう。逆に10年以内に日本が絶対に財政危機に陥ることはないと言言できる人はどれくらいいるのでしょうか？そんなことが起こるかどうかを論じることはともかくとして、少なくとも有事に備え、「自分の身は自分で守る」という万全の準備が必要な時代になってきていることは、間違いないように思います。

波乱の時代をどう生きるか？今年一年、ひとりひとりの生き方が試される年なのかも知れません。



図1: フラットインベシメント型年金削減案



キーストーン 百年シナリオ通信

～豊かな人生を提案するライフナビゲート情報誌～

2010年1月号

夢を実現する方法について

謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になり誠に有難うございました。

さて、寅年の今年、みなさんはどんな夢や計画をお持ちでしょうか？夢といっても、昨今のご時勢で明るい未来を描くことは難しいと思われるかもしれませんが、でも、そんな時代でも自分の夢が叶えられる魔法のような方法があるとするれば、試してみたいと思われませんか？

実は私は13年前から自分の夢を実現するために年末年始に毎年あることをしています。とても簡単なこととお金もかからない。にもかかわらずその効果はてきめんで、今までに描いた夢はほとんど叶えられたか現在進行中です。

その方法とは、自分の夢や叶えたいことを紙に書いて持ち歩くこと。そんなことは今までに何度も聞いたという方も多いかも知れませんが、でも、それをしっかり実行している人は百人中何人くらいいるのでしょうか？

ちなみに私が昨年やりたいこととして紙に書いていたこ

とのいくつかを挙げてみると、「大阪梅田徒歩圏にオフィスを持つ」、「スタッフを3名から6名に」、「ライフプラン(百年シナリオ)セミナー及び海外ツアーの開催」、「売上げ〇〇の達成」、「夫婦でハワイのショートステイ」などなど。

会社を運営するものとしては、まだまだちっちゃな夢かも知れませんが、実は一昨年の年末段階ではどれもまったく形になっていなかったものばかり。でもすべて実現してしまいました。

年末12月には新しくFPの森本がスタッフとして加わり(下段で自己紹介しています)、今年は新しい体制で新規事業も増やしながら、弊社の夢をチームワークで達成していきたいと思えます。

何とぞ、今年もどうぞよろしくお願いたします。

株式会社キーストーンFPコンサルタンツ
代表取締役 石野 毅



キーストーンアライアンスメンバー紹介 ~福岡編~

北海道から沖縄まで、全国で活動しているアライアンスメンバー。個性溢れた独自の展開を行っているメンバーが毎月続々登場です。

今月のメンバーピックアップ

キーストーンコンサルティング株式会社 代表取締役 廣谷 信幸



中大が董事
理念・信念・モットー
幸せな生き方を伝えていくこと。

メッセージ

幸せな人生を送るには、3つ必要だと考えます。①健康 ②仲の良い家族・仲間 ③お金。この3つのバランスをうまくとりながら、幸せな楽しい人生を謳歌し、そして社会に貢献する。百歳まで生き、最後はPPK(ピンピンコロリ)で天寿を全うする。この様な生き方を理想とし、ご連絡いただいたクライアントの方と共に歩んで、実現していきたいと思っています。

Q1: 最近感動したこと

お恥ずかしい話ですが、2009年10月の香港・マカオの金融圏視察の際、マカオでパスポートを失くしてしまいました。マカオには日本領事館がなく、おまけにこの日は土曜日。警察に駆け込んでどうにかこうにか日曜日までを過ごし、月曜日は早朝からマカオのイミグレーションセンターへ、10本全部の指紋を指の紙で取られ、写真も3枚ほど撮られ、1時間ほど待つと書類を受け取り、ようやく香港へ。しかし、香港入国の際にも1時間程待たされ、写真も撮られ、その後「お前は誰だ」の質問責め…。ようやく入国を許され、香港の日本領事館へ通り着き、福岡に戻ったのは火曜日でした。土日の休日にもかかわらず、携帯電話で「全面的に支援しますから」と連絡をしていた香港の日本領事館の山崎領事さんには、本当に感謝です。そして、多くの方々に支えていただいたことに感動しました。

Q2: 自慢の能力

マカオでパスポートを失くしてから4日目を【元気に、明るく、前向きに】過ごすことが出来たこと。

Q3: 旅の教訓

現金とクレジットカードは別に持っていたので助かりました。【旅は1つの旅に際するという分散投資をするための格好がありますが、骨身に沁みました。



〒802-0001
福岡県北九州市小倉北区浅野1-2-39 2F
キーストーンコンサルティング株式会社
TEL: 093-551-6325
FAX: 093-551-6326
E-mail: info@keystone-c.net
URL: http://www.keystone-c.net/



定期的にセミナーを開催しています

新メンバーが加わりました

皆さん、はじめまして。2009年12月1日付でキーストーンFPコンサルタンツに入社しました森本政行と申します。2002年にFPの資格を取得し、主に個人のお客様に対する生命保険販売に力をいれてまいりました。お客様の生涯を通してその時々最適な提案をしていく事で、お一人お一人のライフプランに長期的に関わりを持てるという点にやりがいを感じております。またお客様から常に信頼され、頼りにされる存在である事を心がけております。今後は皆様へ「安心」もご提供できるよう、保険以外の面からもトータルなライフサポートをしていく事に力を入れていく所存です。

性格は、よく「大人しう」とか「草食系」と見られますが、芯は強く、学生時代のクラブ活動とアルバイトの経験により根性を身に着けました。お金を稼ぐ事の大変さを痛感したのもこの時期。貴重な経験でした。今はその大事なお金をどのように使い殖やしていくのかを、自分自身ももっと勉強し、お客様のお役に立つ事でキーストーンFPコンサルタンツの一員として貢献していきたいと思っております。

趣味は釣りやバイクと野球観戦。釣りについては、同じ場所でもその都度、状況に応じて作戦を変えながら魚と対

峙しなければ勝てないという駆け引きが魅力。最近は完全に魚に負け続けていますが…(涙)。バイクは扱いが面倒な分愛着があり、四国へうどんを食べるために走った事もあります。いつかはハーレーダビットソンで北海道の大地を走る事が夢。野球はオリックスのファンですが、かなり少数派なのでいつも球場では寂しい思いをしています。もしオリックスファンの方がいらっしゃれば是非一緒に京セラドームに行きましょう！

来春に初めての子供が誕生する予定で、とにかく今は無事に生まれてきてくれる事をいつも願って過ごしています。仕事もプライベートも大きな転機を迎え、今後より一層気を引き締めて取り組んで参りますので、今後ともどうぞよろしくお願いたします。



森本 政行 プロフィール

昭和19年生まれ。長崎県佐賀市出身。教育資料の企画営業会社にて営業取締役。平成11年生命保険・損害保険代理店にて11年間の営業経験を経てキーストーンFPコンサルタンツに入社。定期的に社会人向けのマネーセミナーを開催。将来はFPとして「お金の教育」をテーマにした子供向けのセミナー(塾)開催を目標に日々奮闘中。

キーストーン百年シナリオ通信発行元

株式会社キーストーンFPコンサルタンツ
〒531-0072 大阪市北区豊崎3-9-7 いずみビル5F
発行責任者 石野 毅

TEL ☎0120-140-439 FAX ☎0120-707-139
E-mail info@kanameishi.com URL http://www.kanameishi.com

あなた様からのお問い合わせやご意見・ご感想お待ちしております。
返信用封筒、E-mail、FAXをご利用ください。

人生百年シナリオ

「生きがいで生きる！」

『葉っぱのフレディ』(レオ・ブスカーリア作 みらいな訳 童話屋出版)という童話を読まれたことはありますか? その一場面です。秋になり仲間の葉っぱが散ってゆく中、フレディが兄貴分のダニエルに聞きます「ねえ、ダニエル。僕は生まれてきてよかったのだろうか。」するとダニエルは答えます「僕らは、春から冬までの間、本当によく働いたしく遊んだね。人間に木陰を作ったり、秋には鮮やかに紅葉して、みんなの目を楽しませたりもしたよね。それはどんなに楽しく、また意味のあることだろう。意味のある生き方ができた、ということが幸福なんだよ。」

百年シナリオを描いていく上で、土台となるのが「健康」、欠かさないのが「生きがい」。

「生きがい」を辞書で引いてみると、「生きる張り合い。生きていてよかったと思えるようなこと。」と書いてあります。生きていてよかったと思えるようなことって何でしょう? 美味しいものを食べた、素晴らしい景色を見た、素晴らしい人に出会った、賞賛を

浴びた、目標を達成した…人それぞれ違いはあるかも知れませんが。

人生百年シナリオセミナーでは、ワークショップで「生きがい」について考え、紙に書いていただきます。その中で一番多い答えが「人の役に立つこと」です。もちろん、自分が楽しむ趣味や旅行を書く人も多いのですが、考えて考えて、書いて書いていくと最後にはやはり、「人の役に立っていたい」というところに行き着くようです。

「あなたにとって生きがいはなんですか?」

キーストーンアライアンスメンバー(大阪)
「人生百年シナリオ」プロデューサー
～成長のよう生きる～
井上 弘一 (イノウエ ヒロカズ)

昭和33年生まれ、兵庫県神戸市出身
「人生のゴールが何者かとしたら、あなたは何のシナリオを描くでしょう?」
この本を執筆したおとこの文がその答えをよびます
4年前から取り組んでいる「人生100年プロジェクト」。健康・富貴・住みよい生活、
自由・達成感・充実感・生きがい、これらが揃った人生は、何となく「人生のゴール」に近づいていくように思えます。



生きがい・趣味

「お茶を楽しむ」



裏千家での茶道との関わりはかれこれ10年になります。

青年会議所の茶道部への入会がきっかけで、現在横浜淡交会青年部(青年部は50歳で卒業)に所属しております。

茶道のたのしみは、やはりお茶会に来てくれた方々が楽しんでくれることです。テーマを決めてお茶会を催しますが、軸・花・茶碗・お菓子に至るまで、茶会に使われるものすべてが当日のテーマに沿っていることとなります。青年部では1年に一回メインの茶会を催しますが、準備は半年前からおこなっています。

また、1年に1回、作り物講座を開催し、お菓子作り・茶約作り・作陶などを行っております。過去の趣向で面白かったものをあげると、サッカーワールドカップ決勝戦が横浜で開催された時の茶会があ

ります。約300人の方々に、いろいろな国の器でお茶を飲んで頂き、とても評判が良かった思い出があります。

また、3年前のお茶会では、モーツァルト生誕250周年記念「魔笛」と題してお茶会を催しました。床には「ピカソのリトグラフ」・水指には「ウエッジウッド」を使ったりと趣向を凝らした甲斐があり、席が終わるたびに、お客様から盛大な拍手が出るほどの盛り上がり様でした。

さて、お茶で一番大切な「和敬静寂」という4つの言葉に表れています。お互いに心を開いて仲良くし、お互いに尊敬しあい、心の中が清らかで、ものごとに動じない心を持ちたいものです。

たまには、お茶飲んでみませんか?

キーストーンアライアンスメンバー(東京)
株式会社 ドリーム ゲイツ コンサルティング
代表取締役 杉山 廣規(スギヤマ ヒロノリ)

昭和33年生まれ、北海道札幌市出身
銀行勤務を経て、専ら「人生100年」をテーマに活動
札幌市に11年より「札幌市ロケットランニングクラブ」を創設
札幌市に11年より「札幌市ロケットランニングクラブ」を創設
札幌市に11年より「札幌市ロケットランニングクラブ」を創設
札幌市に11年より「札幌市ロケットランニングクラブ」を創設



夢・目標の実現のための海外資産運用講座～PTMC理論～

PTMCとは、「複数通貨および多国間居住による移動可能な職業」(Portable Occupation Theory with Multi-Currency and Cross-Border Scheme)の頭文字を取った略であり、日々変動する世の中を生きる我々に必要な「幸せな、ライフスタイルの實現や生き方をとする為の知恵」です。PTMCを達成する方法を、GGLでは会員の皆様と共に学びながら、実践しています。

ポータブル・オキュベーションの具体例

携帯職業、独立自由業の意「ポータブル・オキュベーション」簡単に言うと世界中どこにいても収入を得る事が出来るようにする事です。その具体例の中でも、誰にでも実現可能なものを挙げてみましょう。

- 『年金受給』** 一定期間以上、勤続し年金・保険料を納め続けてさえいれば、誰にでも可能です。
『注意点』 将来の少子高齢化や年金未納者の増加などの問題により、受給額の減少や、年金制度の仕組み自体が根拠から崩れてしまう恐れもあります。
- 『賃貸収入』** アパートやマンション・不動産を購入し賃貸物件として、居住者から毎月の家賃収入を得る事や、自己所有の土地を駐車場などで貸し出し、賃貸収入を得る事。
『注意点』 建物の場合は、老朽化する毎にリフォームが必要であったり、空きが出れば次の居住者を探さなければならなかったりと意外と維持費や手間がかかる事もしばしばあり、投資効率があまり良くない場合もあります。
- 『株式配当』** 株式の中で、一定期間毎に株主に対して株主配当として、配当金が出る株式の購入。
『注意点』 その会社の業績によっては、配当が出ない年があったり、業績悪化などの理由により株式の価値が下がる事による資産の目減り、最悪会社が破産し、株券が紙くずと化してしまう可能性もあります。
- 『投資信託』** 個別銘柄を所有するのではなく、ファンドマネージャーが運用・管理する投資信託を活用する方法。
『注意点』 当然世の中の情勢や市場の動きに伴い、ファンド価格の下落による目減りも考えられます。株式型・債券型・不動産型というに分散しておけば、資産を自減りさせる危険性を抑える事も可能です。リスクとリターンを吟味して、自分の理想に近いものを選ぶ必要があります。

誰にでも目指せるポータブルオキュベーションは、自分の資産を上手く活用し、運用させる事と言えます。その為には、まずは、きっちりと自分の目指す先・目標を定め、ライフプラン計画を作成した上で、**何に投資するか?**を決めて、あとはそれを計画通りに進めていく事が重要となります。「いつかそのうち・・・」「必要になったら・・・」ではいけません。資産運用は、時間を味方につければ、損をするリスクを抑える事が出来ます。まず、情報を収集する、そして勉強する事。これが一番大事な事なのではないでしょうか。

■ ナマの海外情報 視察ツアーレポート&ロングステイ情報

■ 米国FP事情視察記

10月9日から16日の約1週間、米国のファイナンシャルプランナー(以下、FP)のビジネス状況の視察に、FP10人ほどで行ってきました。滞在期間中の前半は、FPAという、FPの業界団体の年次総会に出席。後半は、実際に営業しているFPのオフィスに3社ビックアップして訪問しました。ロサンゼルス国際空港から車で1時間ほどでアナハイムのコンベンションセンターです。

年次総会自体は、1,000人ほどの規模でした。なんでも昨年と比べると景気の影響でずいぶん規模が縮小したそうです。総会の内容も、世界的な株価の下落による打撃から立ち直って頑張ろう!という色彩が強いものでした。株価が下がれば借ってパニック売りしに走り、上がってくれば乗り遅れてはいけぬと高値掴みをする。これが恐ろしいかな典型的な投資家心理です。(そしてこのスタイルではまず間違いない儲けることができます。)投資先国である米国でもやはり大勢はそうで、株価が下がると顧客からの売りの指示が増えて預かり資産が縮小してしまうので、FPも苦しくなってきたというのが近況のようです。

しかしオバマ政権が登場し、株価もやや持ち直してきたこともあり、今後は明るい光が見えてきたという趣旨の発言も多かったです。論議を聴い

ていて興味深かったのは、オバマの民主党政権が進めようとしている国民皆保険制度に対する連年の反応です。米国経済にとっての重大な脅威であるという意見が多数です。

さて、小ぶりの総会のよいところは、各種パーティ・分科会などで何度も顔を合わせることで、出席者同士仲良くなりやすいことです。今後海外ロングステイなどで縁が深まりそうな先、フィリピンやハワイなどのFPと知り合うことが出来ました。現地に知り合いがいると何かと心強いものです。

後半はFPのオフィスを表敬訪問です。3社ともしっかりと顧客との信頼関係を築いており、経営は健全なようでした。インタビュをしていて最も興味深かったのは、代表であるファイナンシャルアドバイザー 3人の前職です。2人が生命保険の販売員、1人が投資信託の販売員。つまり、僕ら(キーストーンアライアンスメンバー)の前身の仕事とはほぼ同じということ。

ということば、現在の彼らは僕らの未来形ということなのでしょうが、半ばの多い所でした。

キーストーンアライアンス副代表
大坪 勇二

■ 海外での体験は得がたい人生の資産になります!



およそ1,000人が集まったFPAの年次総会。日本からはおよそ20名が参加しました。



FPAビジネス女性グッツの販促コーナー。教育プログラムが人気で賑わっていました。



アドバイザー1人+スタッフ3名の中核のFPオフィス。顧客の一人とお話ししました。



アドバイザー3人+スタッフ10名の大規模FPオフィスを訪問しました。



もう半分引退モードで、週3日だけゆっくり働いているアドバイザー1人だけのオフィス。